



なっとくんの

なるほどなっとくニュース



Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。↑

なご たんさんせん 奈古の炭酸泉とトラバーチン

あぶちょうなご
阿武町奈古

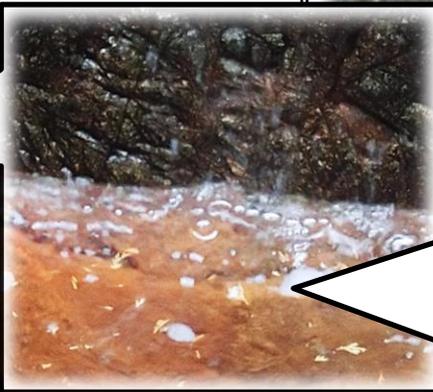


あるコンクリート製の建物の天井に、白っぽいつらのようなもの(右写真)ができていました。これは、空気中の二酸化炭素が溶けこんだ雨水が、長い時間をかけてコンクリートのカルシウム成分と反応してできたもの(主に炭酸カルシウム)です。阿武町奈古の山中に、それと似た現象が自然の作用によって起こっている場所があります。



二酸化炭素を含む水が、川底や岩石の割れ目からわき出ています(炭酸泉)。この炭酸泉の水は、周辺の川と比べるとカルシウムなどの物質が10倍以上も多く含まれているそうです。

拡大すると...



その炭酸泉がしみ出した場所に、炭酸カルシウムが1年間に数cmずつ堆積したものの(トラバーチン)が、上の写真のような不思議な景色をつくりました。まるで秋芳洞(美祿市)のミニチュアのようなようです。

レッツ
チャレンジ!



阿武町奈古のトラバーチンは炭酸泉の由来など、まだ解明されていないことがたくさんあるそうです。

秋芳洞のある秋吉台のような、石灰岩が雨水や地下水によって侵食されてできた台地を何というのでしょうか?

A カルスト台地